

清友

No.157

2022年9月
(2022年8月30日発行)



武田氏菩提寺恵林寺の山号
乾徳山最大の難所「鳳岩」

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

安倍「国葬」やめろ！

国葬費用は推定30億円

岸田内閣は安倍「国葬」費用を予備費から支出することを閣議決定しました。予算額の2億5千万円は儀式の直接経費のみで、警備費等を加えると30億円になると想定されます。岸田内閣の説明なしのやり方に対し、「国葬」反対の声は日に日に高まっています。

国葬に法的根拠なし

戦前の軍国主義の反省から「国葬令」が廃止され、「国葬」に法的根拠はありません。首相在任期間最長（当時）だった安倍晋三の大叔父佐藤栄作の「国葬」は、「法的根拠がない」として実施されませんでした。政府は「内閣府設置法」の「国の儀式所掌」規定を根拠にしていますが、法的根拠のある儀式の所掌を定めたものでしかなく、「国葬」を行える法的根拠にはなりません。無理が

通れば道理が引つ込む手法は、安倍流そのものです。

実施理由は主観的評価

岸田内閣は安倍「国葬」の理由として「憲政史上最長の首相在任期間、経済や外交での大きな実績、蛮行による死去で国内外から哀悼の意が寄せられている」ことなどを挙げていますが、岸田内閣の主観的な評価に過ぎません。

安倍には負の遺産しかない

憲政史上最長も、情勢に助けられた偶然の産物でしかなく、「やっつてる感」の演出を繰返して乗切つたに過ぎません。経済政策は、富裕層優先の施策を進め、非正規を拡大して「生きづらい社会」をつくりました。外交面では、拉致問題も北方領土問題も政治利用しただけで、解決の糸口すらつけられませんでした。「戦争法」や「共謀罪」など



8月27日に新宿西口で開かれた
安倍「国葬」やめろ！市民集会

戦争できる国へ向けた体制を国民の反対を押し切って強行、憲法に関わる事項を閣議決定で決める等、国会を軽視し続け、立憲主義を毀損しました。そして、在日外国人等に対するヘイトを助長して社会に差別と分断を持ち込み、モリカケサクラなど権力を私物化、国会でウソをつき通しました。このように、安倍には、負の遺産しか残されていません。

※2面へ続く

その挙げ句、「靈感商法や偽装勧誘、リンチ事件等を起こした犯罪集団＝統一教会の広告塔」として殺されたのです。

国葬は戦争政策と一体

戦前の「国葬」は、天皇主権国家体制を支え、戦争遂行のための装置でした。だから、戦後、平和憲法発布に伴い『国葬令』は廃止されたのです。

戦後唯一行われた吉田茂の「国葬」も、ナシヨナリズムの鼓舞による、ベトナム戦争への実質的参戦体制強化を目指

した戦争政策でした。

安倍晋三の美化を許すな!

「国葬」は宗教的側面があり、対象者の美化＝政治的評価と弔意の強制につながります。本来なら犯罪者として裁かれるべき人物である安倍晋三の美化と、戦争できる国づくりの一環として、「国葬」が政治利用されようとしています。

安倍「国葬」反対の行動は全国各地で行われ、ネット署名も進められています。安倍「国葬」断固反対。中止だ中止。

安倍「国葬」反対の主な行動

- 安倍「国葬」の中止を求める9・13労働者・市民集会
 <日 時> 9月13日(火) 18時30分
 <場 所> 文京区民センター2A 大会議室
 <講 演> 安倍「国葬」と日本政府の狙い
 講師：指宿昭一弁護士
 <資料代> 800円(参加者負担)
- 改憲発議と大軍拡やめろ! さようなら戦争 さようなら原発 9・19 大集会
 <日 時> 9月19日(月) 13時30分
 <場 所> 代々木公園野外ステージ
 ※集会後デモ
- 安倍元首相「国葬」反対! 国会正門前大行動
 <日 時> 9月27日(火)
 国葬と同時刻(時間未定)
 <場 所> 国会議事堂正門前

※この行動以外にも各地で様々な取り組みが行われます。退職者会は『平和フォーラム』呼びかけの行動を中心に取組むことにしています。



海上自衛隊ヘリ空母 (実質的空母)

9月12日に秋の学習会

2022秋の学習会

- 日 時 9月12日(月)
午後1時15分開会
- 場 所 清掃会館地下ホール
- テーマ 改憲・軍拡路線阻止へ(仮題)
講師：勝島一博さん
(平和フォーラム共同代表)

※当初予定していた「懇親会」は、コロナの状況を考慮し取り止めます。

安倍「国葬」問題が大きな課題になっています。岸田政権が「国葬」を強行しようとしているのは、軍備拡張と改憲へ向けた政治的意図と無関係ではありません。

7月の参議院選挙の結果、改憲勢力(自民・公明・維新・国民等)は衆参両院の3分の2以上を占めました。その上、衆院解散を行わない限り、今後3年間、国政選挙はありませんから、改憲発議の危険性

は飛躍的に高まりました。

当面の具体的課題は、軍事費予算倍増(世界3位に)と敵基地攻撃能力保有問題です。

このような情勢下、改憲と軍拡路線に抗する闘いをどう構築するのかを考える場として学習会を設定しました。

コロナの感染は依然高止まりの状況です。感染予防に充分気を付けた上で、学習会に参加いただけるよう、お願い致します。

10月18日

日帰り親睦旅行「みさきまぐるきつぷ」満喫ツアー

10月18日に「日帰り親睦旅行」を行います。三浦・三崎をめぐる『みさきまぐるきつぷ』満喫ツアーです。



8時に品川駅集合、電車で三崎口へ、『みさきまぐるきつぷ』を使って、気ままにのんびり、食べ歩きや見物をして、遅めのランチ&ビール

ル、買い物を楽しむという行き当たりばったりツアーです。『みさきまぐるきつぷ』には、①往復の電車、現地バスフリー乗車券、②まぐるまんぷく券、③三浦・三崎おもひで券がついています。「きつぷ」は各自で購入（スマホがある方は「デジタルきつぷ」がお得）していたいただきますので、切符購入代が参加費の代わりです。申込みは10月11日までに。

11月10日

新宿御苑菊花壇と千駄ヶ谷富士登山、藤井五冠勝負メシ

11月10日に「秋のフィードワーク」を行います。

皇室由来の新宿御苑菊花壇をめぐる、将棋塚がある鳩森神社千駄ヶ谷富士登山、時間があれば将棋会館（近々建替え予定）をのぞいて、メは将棋会館御用達藤井五冠の勝負メシをランチで。

らせします。スケジュールを空けておいてくださいね。

参加費は千円の予定です。参加募集は10月始めにお知



新宿御苑菊花壇「大作り花壇」(1本の莖から数百の花が)

退職者会「宇宙物理学部第9回イベント」日本科学未来館「きみとロボット」展見学
昔、漫画でみていたアンドロイドも進化

8月26日、「宇宙物理学部」第9回イベント。江東区の「日本科学未来館」で開催されている「きみとロボット」という特別展示会に行きました。

約90種類、130点にわたる開発当時から今日の最新鋭ロボットまでの数々を、手で触れたりして、遊びながら見学しました。今話題の「ドローン」も一人利用の自動車として実用化に向けて開発されており、昔、漫画でみていた「アンドロイド系」ロボットも着実に進んでいるように思われまし

た。今後の発展が大いに期待されます。

今回のイベントは急遽の設定でしたが、コアな参加者が結集したので、久しぶりの反省会が盛り上がり、今後は「部会」ではなく「学会」にしようという話しがまとまりました。（どうでもいけど…）

岡澤会長の「シュレーディンガー波動方程式」を皮切りに「MMT理論」「安倍首相の天誅殺説」などの論議をしながら、次回の例会に向け、話しの花が咲きました。（箱田）



人事院給与勧告の概要

<月例給>

- 官民較差 921円 (0.23%)
(俸給 818円、はね返り 103円)
- 行政職俸給表(一)
- *初任給引上げ(大卒程度 3,000円、高卒者 4,000円)
- *20歳台半ばに重点を置き、30歳台半ばまでの職員が在職する号俸を改定(平均改定率=1級 1.7%、2級 1.1%、3級 0.2%、4級・5級 0.0%、6級以上は改定なし)

<ボーナス>

- 民間の支給状況に見合うよう引上げ 4.30月分→4.40月分
- *勤務実績に応じた給与を推進するため、引上げ分を勤勉手当に配分。その一部を用いて上位の成績区分に係る原資を確保

<実施時期>

- *月例給：2022年4月1日
- *ボーナス：法律の公布日

人事院は8月8日、①月例給の民間較差0.23%を埋めるため、初任給及び若年層の俸給月額引上げ、②ボーナスを0.1月引上げ、勤勉手当に配分、一部を上位の成績区分原資に確保とする勧告を行い、あわせて、テレワークの手当やインターバル確保、60歳前

3年ぶりの引上げ勧告

後の給与水準等、給与制度見直しの検討を報告しました。

物価上昇に追いつかない勧告

自治労と公務員連絡会は、月例給・ボーナスともに3年ぶりの引上げと初任給・若年層の給与改善は評価するものの、「物価上昇等の影響を考慮した全世代への配慮」に欠けており、コロナ禍や災害対

人事院 勧告

月例給 0.23% 引上げ
ボーナス 0.1月 引上げ

▽初任給(30歳半ばまでの世代に限定した俸給月額改善)
▽ボーナス引上げ分は勤勉手当その一部を上位成績区分原資に



昨年の東京清掃賃金確定総決起集会

策等に懸命に奮闘している組合員実態に即していないこと、ボーナス引上げ分を勤勉手当とし、その一部を成績上位者への配分原資としたことは不当、給与制度見直しの検討は労組の意見を踏まえること等の見解を明らかにしました。

東京清掃の闘いを応援

今年度の勧告は、物価上昇に追いつかないという勧告制度の矛盾を一層明白にしました。

定年延長問題の過程で、特別区の現業賃金水準が行政職に比べ低すぎるといふ実態が露呈しました。東京清掃の大きな課題は現業賃金の抜本的改善です。退職者会は今年も現役世代の闘いを応援します。

人生百年時代へ健康寿命の維持を

「最近、動悸がひどくなったような気がする」「体が重く感じる」「手足がしびれる」「ふらつく」「医者がよこす薬は、本当に必要なのだろうか」など、体調の不安や医療に関する疑問をお持ちの方も多いと思います。そういうときにみなさんはどうしていますか。

健康や医療に関する相談を気軽にできるようにするため、東京清掃は毎月一回健康相談を行っています。対応する方は東京清掃顧問医の平野先生(亀戸ひまわり診療所理事長)、相談料はもちろん無料、毎月第4水曜日午後4時からです。

東京清掃の好意により、退職者会の会員は、この健康相談を活用することができます。また、法律相談も毎月行われています。こちらも会員は活用できます。申込みは、退職者会の戸枝事務局長宛に↓
090(8681)8221 連絡してください。

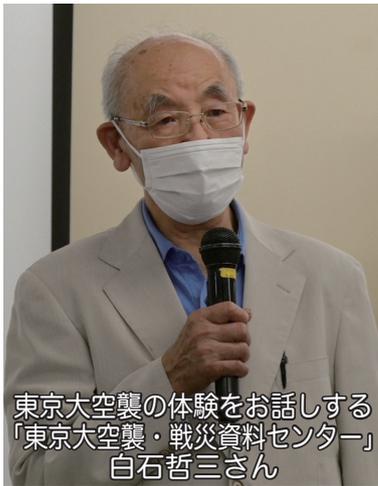


清掃・人権交流会第24回総会を開催

7月30日、日本教育会館で清掃・人権交流会第24回総会を行いました。その前段で、東京清掃の人権啓発推進担当者会議が3年ぶりに開催されました。

東京大空襲と戦争体験の講演で平和の大事さを痛感

人権啓発推進担当者会議では、『東京大空襲・戦災資料センター』の白石哲三さん(84歳)を講師にお招きして東京大空襲や戦争に関する生の声を聞



東京大空襲の体験をお話する「東京大空襲・戦災資料センター」白石哲三さん



総会であいさつする人権交流会押田会長

くことができま

くことができま。白石さんは「当時の天皇は、東京大空襲を受けた数日後に現場を視察しており、この時に戦争をやめる決断をしていれば、その後の沖縄上陸戦や広島・長崎の原爆は起きていなかっただろう」と語り、「戦争は絶対に起こしてはならない。そのために多くの人たちに悲劇を伝え、平和を訴えていく」と力強く語りました。

コロナ禍でも創意工夫しフィールドワークの実施へ

続いて清掃・人権交流会の総会に移りました。長期化す

今年も狭山現地調査を実施(10月23日)

狭山再審実現の闘いはいよいよ本場の山場迎える

狭山事件はこれまで幾度も再審実現の山場と言われてきましたがいよいよ本場の山場が近づいています。弁護団が提出した多くの新証拠、とりわけ科学的証拠として「被害者の万年筆」とされてきたものが全くの偽物であること、

るコロナ禍の中、多くの方に参加いただき、この間の活動報告や今年度の活動計画を確認することができました。

隔月で開催している定例会は行えたものの、長年取り組んでいるフィールドワークや芝浦と場見学・交流会は開催できませんでしたが、創意工夫しながら運動の前進を図っていくこうと、フィールドワークの実施も確認しました。とりわけ狭山闘争は、第3次再審の実現に向け、一層の取り組み強化が求められています。

会員拡大を実現し、清掃・人権交流会の活動の前進を確認して総会は終了しました。

犯人が残した脅迫状も石川さんとは別人の筆跡であることを証明した新証拠について、この秋にも弁護団から事実調べ・鑑定人尋問の申請に踏み切ることになりました。

今年で26年連続の開催

狭山現地調査にぜひ参加を

東京清掃労組と清掃・人権交流会が取り組んできた狭山



昨年の狭山現地調査 みんなで集合写真

現地調査は、今年で26年連続となり、この10月23日(日)に開催することになりました。

石川さんご夫婦から直接お話を聞き、狭山事件の学習を深め、現地調査で石川さんの無実を実感することができこの狭山現地調査は、毎年やるたびにその意義が深まっています。

ぜひ、多くの方の参加をお待ちします。

【退職者幹事 押田五郎】

戦争犠牲者追悼、平和を誓う8.15集会 戦後77年～平和を次世代に伝えよう



敗戦から77年、明治維新から敗戦までが77年、戦争の時代より平和の時代が長くなる今年の8月15日、平和フォーラム主催の『戦争犠牲者追悼、平和を誓う8・15集会』が千鳥ヶ淵戦没者墓苑で開催されました。

改憲阻止の運動強化確認

正午に黙とう、平和フォーラム勝島一博共同代表が「誓いの言葉」を、立憲民主党近藤昭一衆院議員、社会民主党

化を確認しました。

東京清掃も平和運動強化を決意

この集会上に東京清掃は常駐四役全員が参加し、「二度と繰り返さぬよう、戦争の悲劇が忘れ去られるようなことがあってはなりません。私たちが労働組合は、戦争の記憶を語り継ぎ、平和の尊さを次世代に伝えていく任務があります」「引き続き、平和主義を堅持し、国民全員が安心して暮らせる社会の構築にむけて貢献していく」という決意をホームページ巻首に載せています。

福島瑞穂党首、立憲フォーラム副代表阿部知子衆院議員、戦争をさせない1000人委員会内田雅敏事務局長が「追悼の言葉」を述べ、その後、参加者がそれぞれ墓前に献花を行い、すべての戦争犠牲者を追悼し、不戦の誓いを新たに、戦争被害に対する謝罪や賠償などの解決、改憲と反動政治の阻止へ向けた運動の強化を確認しました。

安倍「国葬」反対！自民党の統一教会癒着徹底究明！国会開会しる

7月22日の「安倍国葬」閣議決定から4週間、8月19日の『総がかり19日行動』は、「安倍国葬反対」の声が国会議員会館前に響き渡りました。

ウソが通る社会をつくらない 安倍の「国葬」は許せない

主催者挨拶で平和フォーラム藤本共同代表は、「非正規の拡大により生きづらい社会になった。安倍はウソが通る社会をつくり、生きづらい社会をつくった張本人だ。そんな安倍の国葬を許してはならない」と訴えました。

立憲野党から、安倍国葬や、自民党と統一教会の癒着などの問題点を審議するため、臨時国会開会を要求したことが報告されました。大臣・副大臣・政務官のうち30%以上が統一教会との関係をもっていたことが明らかにされていますが、実態はもっと多いようです。

地域でも統一教会問題や安倍「国葬」反対の声拡大 市民からの報告で、在日ビ



ルマ市民労働組合ミン・スイ会長は、「日本はロシアに経済制裁したが、多くの市民のいのちを奪っているミャンマー国軍をODAで支援している」と批判し「国葬に大反対」を表明、統一教会の名称変更に関与したとみられる下村博文と対峙している板橋の地域活動や『宗教者平和ネット』の方は、「国葬反対」の声が地域で高まっていることを報告しました。安倍「国葬」反対！